

事務事業チェックシート

事務事業No 689 事業名 市民会館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動の環境整備充実

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	和歌山市民会館条例、和歌山市民会館条例施行規則		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	市民会館費		
	大事業	市民会館事業		
中事業	市民会館管理運営事業			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 市民会館を安全に利用できるように維持管理する。		全体事業概要 市民会館を安全に利用するための維持管理事業 ・昭和54年7月5日開館 ・総工費 4,385,000千円 ・鉄筋コンクリート造(一部鉄骨) ・地上4階 地下1階 ・大ホール、小ホール、市民ホール、展示室、会議室等			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
施設管理運営 指定管理者 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団を指定管理者とし、会館の貸出業務、管理業務や自主事業を実施 新市民会館建設に向けて伏虎中学校跡地活用基本構想を策定		施設管理運営 指定管理者 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団を指定管理者とし、会館の貸出業務、管理業務や自主事業を実施	施設管理運営 指定管理者 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団を指定管理者とし、会館の貸出業務、管理業務や自主事業を実施	施設管理運営 指定管理者 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団を指定管理者とし、会館の貸出業務、管理業務や自主事業を実施	施設管理運営 指定管理者 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団を指定管理者とし、会館の貸出業務、管理業務や自主事業を実施	施設管理運営 指定管理者 (公財) 和歌山市文化スポーツ振興財団を指定管理者とし、会館の貸出業務、管理業務や自主事業を実施

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	206,973	204,985	211,220	207,538	208,495	206,788	206,606	206,606	206,606	-
伸び率(%)	-	-	2.1%	1.2%	▲1.3%	▲0.4%	▲0.9%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,203	3,443	3,443	4,143	4,906	5,326	4,906		
	正規職員以外									
	小計	3,203	3,443	3,443	4,143	4,906	5,326	4,906		
国庫支出金		499								
県支出金		626								
市債										
その他	77,456	80,920	78,740	81,890	79,625	76,433	81,412	81,412	81,412	
一般財源(税等)	129,517	122,940	132,480	125,648	128,870	130,365	125,194	125,194	125,194	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.45	0.45	0.52	0.62	0.67	0.62		
	正規職員以外									
主な予算内訳	管理運営委託料									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	自主事業開催数	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	48	53	53		
			達成度(%)	96.0%	106.0%	106.0%		
成果指標	自主事業入場者数	人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	15,235	19,771	15,748		
			達成度(%)	60.9%	79.1%	63.0%		
	施設利用件数	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	2,443	2,194	2,277		
			達成度(%)	48.9%	43.9%	45.5%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	既存の施設であり、今後益々充実した運営を目指したい。
見直し・改善内容	市民会館の施設整備で、伏虎中学校跡地への建て替えを計画中である。